

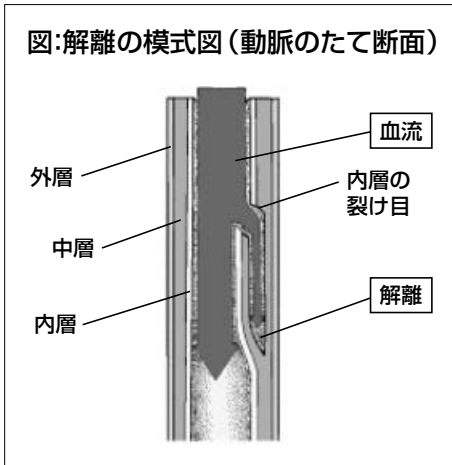
お元気ですか

大動脈の解離

由岐病院内科 本田 壮一

大動脈壁の内層が裂けてしまう死亡率が高い病気について解説します。動脈は、3層からできています。大動脈壁の内層が裂けると、その裂け目に血液が勢いよく流れこみ、まだ無傷のままの外層から中層を引きはがします。その結果、大動脈壁に偽の血流路ができます(図)。これを「大動脈解離」といいます。

この病気は、動脈壁がもろくなったために起こります。最もかかわっているのは高血圧です。また、マルファン症候群などの遺伝性の結合組織の病気でも起こります。まれに、血管造影検査などでのカテーテル挿入中の事故で起こることもあります。



典型的な症状は、「引き裂かれるような」突然の激痛です。最も多いのは胸の痛みですが、背中に感じられることもあります。この痛みは大動脈にそい、解離が広がるにつれて移動します。

解離が進行すると、大動脈から分かれている動脈の分岐部がふさがれ、血流がとぎれることがあります。したがって、どの動脈が詰まるかによって様々な症状が出ます。脳へ血液を送る動脈がふさがると脳梗塞(半身の麻痺、言語障害など)が、心筋へ血液を送る冠動脈がふさがると心筋梗塞(ショック、不整脈など)が、腸へ血液を送る腸間膜動脈がふさがると突然の腹痛が、腎臓へ血液を供給している腎動脈がふさがると腰痛が、脊髄動脈がふさがると神経が損傷を受け、異常感覚や手足を動かせなくなる症状が起こります。解離した部位から血液が漏れ出して胸部にたまることもあります。解離部位が心臓に近い場合には、漏れ出した血液が心臓のまわりにたまる場合があります。この状態になると心臓は血液を十分に受けとることができなくなり、命にかかわる「心タンポナーデ」になります。

強い胸痛があるのに、心電図で心筋梗塞の変化が

【著者略歴】

本田 壮一 (ほんだ そういち)
 由岐病院院長・阿部診療所所長(兼任)
 昭和33年7月、美波町田井の生まれ。富岡西高、徳島大学医学部卒業。徳島大学病院内科、関連病院勤務後、平成17年4月より、現職。

ないとき、解離が疑われます。X線を通さない造影剤を注射して行うCT検査が、素早く確実に大動脈解離が描出されるため、緊急時に役立ちます。心エコー検査も、大動脈解離の診断に有用です。

大動脈解離が疑われると、救急搬送し、ICU(集中治療室)でバイタルサイン(脈拍・血圧・呼吸数)を監視します。死亡するのは、大動脈解離が発生した2~3時間後です。できるだけ早く薬を投与し、血圧を下げる必要があります。心臓血管外科では、手術を行うか、手術せずに薬物療法を続けるかを決定します。手術では解離した大動脈をできるだけ広範囲に切除し、大動脈壁の中層と外層間の偽の血流路を閉じ、人工血管で大動脈を再建します。

手術を受けた人も含め大動脈解離を起こした人は、その後の生涯を通じ、血圧を低く保つよう薬物療法を続ける必要があります。

3月号までのテーマをまとめました(表)。このコラムが、健康増進の参考になれば、幸いです。

表: タイトル一覧 (平成18年7月~平成20年3月)

No.	年月	テーマ
No.1 から No.8 は、旧由岐町役場便りに連載		
9	H18年7	睡眠時無呼吸症候群
10	月	病院で働く人々
11	8月	テクノストレス
12	9月	アミラーゼ
13	10月	嚔下性肺炎
14	11月	糖尿病とインスリン
15	12月	インスリン注射
16	H19年1	何科へ(専門科)
17	月	鼻からの胃カメラ
18	2月	血栓症の予防
19	3月	脳梗塞の予防
20	4月	爪のケア
21	5月	骨折の予防
22	6月	認知症の早期発見
23	7月	乗り物酔い
24	8月	脂質異常症
25	9月	新型インフルエンザ
26	10月	年末年始と飲酒
27	11月	トリアージ
28	12月	笑う門には?
29	H20年1	プラス1000歩

ご意見・ご感想を歓迎します。

〈由岐病院 FAX: 0884(78)0533〉